

名古屋市西区を中心に活動する少年野球チーム。
監督・コーチ、家族、地域に温かく見守られながら、
仲間と共にめきめきと成長しています。

33 中小田井ジュニアベースボールクラブ



1



3



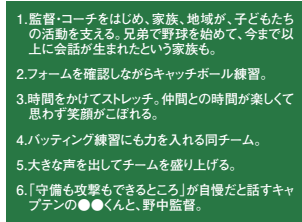
2



5



4



6

1. 監督・コーチをはじめ、家族、地域が、子どもたちの活動を支える。兄弟で野球を始めて、今まで以上に会話が生まれたという家族も。
2. フォームを確認しながらキャッチボール練習。
3. 時間をかけてストレッチ。仲間との時間が楽しくて思わず笑顔がこぼれる。
4. バッティング練習にも力を入れる同チーム。
5. 大きな声を出してチームを盛り上げる。
6. 「守備も攻撃もできるところ」が自慢だと話すキャプテンの●●くんと、野中監督。

上級生を中心に
自分たちでチームを作る！

今から8年前に誕生した「中小田井ジュニアベースボールクラブ」。新2〜6年生27名が在籍する少年野球チームです。 motto「元気に、楽しく、一生懸命」。週末になると元気な声がグラウンドに響き渡ります。

「心掛けているのは、ケガをしない体づくりです」と話す、監督の野中朋徳さん。近年は股関節の弱い子が多く、無理をするとケガにつながりやすいため、練習始めのストレッチやキャッチボールには2時間以上かけることもあると言います。「ケガで野球ができなくなるのはメンバーも私たちも辛い。せつかく野球をやるのであれば、楽しくやってほしいですから。最初は辛いと言いますが、仲間同士で

励まし合って頑張っていますよ。練習中、積極的に声を出してチームを盛り上げる上級生メンバー。試合に勝ちたい！ホームランを打ちたい！そのためにも、今どのような練習が必要なのかを、各自がしっかりと考え、目標を持って練習に励んでいます。監督・コーチの指示だけに頼らず、自分たちの力でチーム作りに取り組み姿が印象的でした。

努力の積み重ねが
やがて自信に

「自分に自信を持てるようになると、大きな声を出せたり、周りを気にかけてあげられるようになります。野球が上手になることを学んでほしいですね」と、全員を我が子のように見つめる野中監督。同チームの誕生の

きっかけは、現在中学生になる監督の息子さんだったと言います。「とても内向的で、自分の意志を伝えられなかった息子ですが、野球を通して自信を持ち、一回りも二回りも大きく成長しました。」

「4年生、5年生のうちは負けてもいい。じっくりと時間をかけて体を鍛えているので、6年生になればだんだんと試合で勝てるようになります。練習を積み重ねれば結果が付いてくる」ということは、子どもたちが一番分かっています。「何回も失敗を重ねる中で良い感覚だけを覚えていけば大丈夫、失敗を恐れず積極的に、アドバイスを送ります。」

監督・コーチをはじめ、家族や地域が見守る温かい環境で、野球に熱中するメンバーたち。今年度も活躍が期待されます。

みんなで食べるからおいしい！



辛いことも楽しいことも一緒に経験し、支え合い、時にはライバルとなる大切な仲間。「大人になってまた戻ってきたいと思える場所でありたいですね」と野中監督。

中小田井ジュニアベースボールクラブ

「元気に楽しく一生懸命」

元気に…元気な挨拶ができ、常に自分の意見を発言できること。
楽しく…野球の基本を覚え、野球の楽しさを知ること。
一生懸命…自分の持っている能力を100%発揮する努力をすること。
西区を中心に北区、東区など近隣の学区からも集まったメンバーが練習に励んでいます。



活動日 土曜・日曜・祝日 9:00〜日没

活動場所 中小田井小学校グラウンド

費用 月会費2,000円、父母会費500円

問合せ メール nakaotai_jbc@yahoo.co.jp
★体験・見学、随時受付中です

URL http://51.xmbs.jp/nakaotaijbc/